

会誌「蝶と蛾」の電子出版への完全移行について

会員各位

「蝶と蛾」編集委員会

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より会誌「蝶と蛾」の出版活動へのご理解・ご協力いただきまして厚く御礼申し上げます。さて、1949年より継続してまいりました会誌「蝶と蛾」の冊子体出版が2018年1月よりJ-Stage（科学技術情報発信・流通総合システム <https://www.jstage.jst.go.jp/browse/lepid>）上での電子出版へ完全移行しますのでお知らせいたします。

1. 経緯

近年、鱗翅学会では会誌の電子化に関する検討を行ってきました。目的は、「学会財政の健全化」と「学術情報の利便性・流通性の維持・向上」の2点でありました。2009年に国立情報研究所の学術情報ホームページ CiNii 上での無料公開を開始し、電子媒体を冊子体の副版（カラーの図は白黒で印刷され、著者負担でカラー印刷も可能）として、会員以外でも、出版後2年すると閲覧できるようにしてきました。しかし、このたび、会員減少などのために学会財政が悪化し、その健全化が急務となりました。また、CiNiiでの電子出版サービスが2017年3月で廃止され、科学技術振興機構の総合学術電子ジャーナルJ-Stageへの移行が必要となりました。このサイトはこれまでも他学会などが学会誌の電子出版サイトとして利用してきているサイトです。これらの事情を鑑みまして、この度「蝶と蛾」のみ冊子体廃止を決定いたしました。

2. 主な変更点

- (1) 「蝶と蛾」の冊子体については68巻第4号（2017年12月発行）をもって終了します。なお、希望者には、1年分1～4号をまとめた冊子をオンデマンド印刷で有償配布（実費）する予定です。
- (2) 69巻よりJ-Stage上でのみ電子出版いたします。
- (3) 原則、掲載後2年間は会員限定公開となりますが、その後は一般公開されます。会員限定公開のIDとパスワードは学会HPの会員ページの「会員サービス」より「J-Stage掲載論文へのアクセス」にて提供いたします。ただし、著者が掲載当初から会員以外にも広く公開すること（オープンアクセス）を希望する場合には、早期公開オプション（有料）も選択可能とします。早期公開オプションの料金は決定次第周知します。
- (4) カラーページチャージを廃止します。
- (5) ページ制限が緩和され（12→15ページ）、超過した場合の超過ページチャージ料金も割安になります（5000→3000円/ページ）。
- (6) 別刷は原則PDFで自分でJ-Stageからダウンロードすることとします。

3. ページチャージ等の変更

- (1) カラーページ料金
 - 現状：10,000円/ページ（税別）
 - 今後：無料
- (2) 超過ページチャージ
 - 現状：12ページを超えると5,000円/ページ（税別）
 - 今後：15ページを超えると3,000円/ページ（税別）
- (3) 別刷
 - 現状：50部単位で印刷別刷りを注文
 - 今後：印刷別刷りは廃止。J-StageからPDF版をダウンロードする
- (4) 希望者への印刷別刷作成料金
 - 現状：実費の半額程度（半額は学会が負担）
 - 今後：実費（オンデマンド印刷）

4. 電子出版完全移行のメリット

- (1) カラーページをふんだんに使用できる環境となります。
- (2) 海外からの閲覧が可能な本学会誌を持続的な形態で残すことができます。若い学生会員などで国際誌への投稿・掲載が奨励される状況におきましても、このスタイルを残す意義は大きいと思われます。

5. 今後の展開

- (1) 冊子体をなくすことにより、新種記載を行う場合には国際命名規約委員会が管理するZoobankへ著者あるいは編集者が自ら登録することになります。この登録が誰でもスムーズにできるよう登録方法の周知手段について検討します。

学術誌は学会発展のための最も重要な基盤でありますので、より良い学術誌をつくりあげるため、皆様のご意見を是非会誌編集委員会にお寄せ下さい。

敬 具